

※代表質問とは 議会内に結成された同じ政策を持つ集団を会派といい、毎年3月定例会において市長の施政方針などに対し、各会派から1人が代表して質問することができるもの。



市政会

竹内 道廣 議員

市長の政治姿勢について



質問 市長が無策無能だから、毎年400～500億円の予算をたれ流し、衰退に衰退を重ねている。人■は毎年1000人ずつ減少し、既に7000人減少した。また、年間70億円の消費が減少している。工場生産高も観光客も農業生産高も毎年減少し、更に耕作放棄地は毎年拡大し、漁獲量も毎年減少している。一体、あなたは何をやっているのか。能力のなさと政策の間違い以外の何物でもないと考えるが、どうするつもりか。

市長 少しでも明るい未来を見据えて前進することが我々の務めであり、今後も共に議会・市民と一緒に前へ進んでいく。予算についての批判はあるとしても、それは一人一人の市民の懐へ入り、経済を潤し、我々の将来に向け理解いただきたい。

質問 県会議員に能力がなく仕事ができないし市長にも能力がないから、佐渡市の重要な社会資本整備は遅々として車をかけている。空港2000m化に

向けてのP-I実施、水深12mの重要港湾の整備、■道バイパス及び佐和■湾岸道路の整備はどう進めるか。

市長 空港2000mについては、今まで議会と執行部が一緒にになってやつてきた。インフラ整備が進んでいないことに責任を感じているが、努力を続けていく。重要港湾の整備については、港湾計画に反映されるように■に予算確保に向け要望活動を展開していく。

質問 佐渡市の地方債残高と人件費の多さは類団比較をしてしまっても、それは一人一人の市民の懐へ入り、経済を潤し、我々の将来に向け理解いただきたい。

市長 類似団体と比較して地方債残高と人件費が多いということは承知している。今後は将来ビジョンに沿って計画的に削減を進めていく。

質問 市長が無策無能だから、毎年400～500億円の予算をたれ流し、衰退に衰退を重ねている。人■は毎年1000人ずつ減少し、既に7000人減少した。また、年間70億円の消費が減少している。工場生産高も観光客も農業生産高も毎年減少し、更に耕作放棄地は毎年拡大し、漁獲量も毎年減少している。一体、あなたは何をやっているのか。能力のなさと政策の間違い以外の何物でもないと考えるが、どうするつもりか。

市長 少しでも明るい未来を見据えて前進することが我々の務めであり、今後も共に議会・市民と一緒に前へ進んでいく。予算についての批判はあるとしても、それは一人一人の市民の懐へ入り、経済を潤し、我々の将来に向け理解いただきたい。

質問 県会議員に能力がなく仕事ができないし市長にも能力がないから、佐渡市の重要な社会資本整備は遅々として車をかけている。空港2000m化に

向けてのP-I実施、水深12mの重要港湾の整備、■道バイパス及び佐和■湾岸道路の整備はどう進めるか。

市長 空港2000mについては、今まで議会と執行部が一緒にになってやつてきた。インフラ整備が進んでいないことに責任を感じているが、努力を続けていく。重要港湾の整備については、港湾計画に反映されるように■に予算確保に向け要望活動を展開していく。

市長 今年は継続的な大雪で歩道除雪は手が■らな

かった。■道

県道について

は県に、市道

については可

能な限り安心

安全な冬の歩

道確保に努力

する。



質問 岡山は豪雪対策本部を5年ぶりに設置。佐渡市においても連■の除雪作業で車道は確保されたが子どもの通学や高齢者が安心して歩ける歩道除雪にどう対応するのか。

市長 今年は継続的な大雪で歩道除雪は手が■らな

かった。■道

県道について

は県に、市道

については可

能な限り安心

安全な冬の歩

道確保に努力

する。

質問 岡山は豪雪対策本部を5年ぶりに設置。佐渡市においても連■の除雪作業で車道は確保されたが子どもの通学や高齢者が安心して歩ける歩道除雪にどう対応するのか。

市長 今年は継続的な大雪で歩道除雪は手が■らな

かった。■道

県道について

は県に、市道

については可

能な限り安心

安全な冬の歩

道確保に努力

する。

質問 地域企業の受注拡大について、

本年度当初予算の速やかな事業執行を

■とともに、地元企業の受注機会の

確保に向けた事業執行の方針について



地域政策研究会

根岸 勇雄 議員

歩道除雪にも行政は今後■をむけるべき



質問 市長の政治姿勢について

酬等の削減を検討する。

質問 最近、市役所の仕事上のミスがたびたび報道されている。ミスを修正処理するためには何倍もの力がいる。

市長 市民の信赖■復のための研修の実施状況を問う。

質問 県は豪雪対策本部を5年ぶりに設置。佐渡市においても連■の除雪作業で車道は確保されたが子どもの通学や高齢者が安心して歩ける歩道除雪にどう対応するのか。

市長 今年は継続的な大雪で歩道除雪は手が■らな

かった。■道

県道について

は県に、市道

については可

能な限り安心

安全な冬の歩

道確保に努力

する。

質問 岡山は豪雪対策本部を5年ぶりに設置。佐渡市においても連■の除雪作業で車道は確保されたが子どもの通学や高齢者が安心して歩ける歩道除雪にどう対応するのか。

市長 今年は継続的な大雪で歩道除雪は手が■らな

かった。■道

県道について

は県に、市道

については可

能な限り安心

安全な冬の歩

道確保に努力

する。

質問 岡山は豪雪対策本部を5年ぶりに設置。佐渡市においても連■の除雪作業で車道は確保されたが子どもの通学や高齢者が安心して歩ける歩道除雪にどう対応するのか。

市長 今年は継続的な大雪で歩道除雪は手が■らな

かった。■道

県道について

は県に、市道

については可

能な限り安心

安全な冬の歩

道確保に努力

会派 代表 質 問



社民・平和市民連合

小杉 邦男 議員

合併による地域衰退を 防止するのが市政の最大課題



質問 合併による行政サービスの縮減で周辺地域の衰退は著しい。市長の政治姿勢が問われている。

市長 地域への細やかな情報を提供し、解決を図りたい。

質問 農林水産業の振興策が最大の課題である。どのような対策を講ずるのか。TPP（環太平洋経済連携協定）は佐渡農業に壊滅的な影響を与える。反対すべきである。

市長 農業所得を確保するよう努めた。TPPには反対する。漁業では漁協の一体化が課題と考えている。

質問 商店街はシャッター通りと化している。今の対処策では追いつかない。大型店の規制による地域再生が必要である。

市長 商店は総合的なサービスの提供に変化してきている。その方向での支援をしていきたい。

質問 観光が半減する佐渡観光にどのような打開策をとるか。

市長 個人観光に需要が移っている現在、民営化は急ぐべきではない。これに応じる二次交通の整備に力を入れたい。

質問 公共交通対策を問う。道とし

ての佐渡航路の今後をどう考えているか。

市長 公共交通は移動手段として必要不可欠であり、実情に応じた改善に努力する。佐渡航路は島民の足であり、佐渡汽船には揺れが少なく、就航率が高い、高速船の建造をお願いしている。

質問 厳しい雇用情勢にどのように対応するか。また、佐渡の低賃金改善の方策として公契約条例の制定を求めたい。

市長 人材育成に市の制度を利用する教育訓練で雇用創設を図りたい。公契約条例は調査研究していきたい。

質問 高齢化率が高い中、介護予防や施設入所待機者の解消にどのような対策を講ずるか。

市長 高齢者の福祉には地域の支え合いが重要である。介護施設の整備、住宅介護サービスの充実に努める。

質問 どのような子育て支援を考えているか。市の保育政策が議論されている現在、民営化は急ぐべきではない。子育て支援には「行動計画」を策定して取り組んでいる。保育の民営化は保護者の理解を得ながら推進したい。

航路問題特別委員会 委員の選任

平成23年3月22日～

3月22日の本会議において、おおさど丸代替船等の建造や佐渡航路について審査するため航路問題特別委員会が設置され、次の委員が選任されました。

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 祝 優雄 |
| 副委員長 | 近藤 和義 |
| 委 員 | 松本 正勝 |
| | 浜 ■ 正敏 |
| | 小杉 邦男 |
| | 中村 良夫 |
| | 猪股 文彦 |
| | 金子 克己 |

請 願 発 議 案

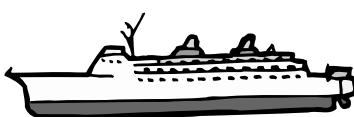
採択された請願

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願



[意見書] 容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書

航路問題特別委員会の設置について



可決された発議案

容器包装リサイクル法

の見直しを求める意見書

[発議]

平成23年 第2回定例会 議決結果をお知らせします

| 件名 | 議決月 | 議決結果 | 議決月 | 議決結果 | |
|--|------|------|--|------|----|
| 専決処分の承認を求ることについて(平成22年度佐渡市一般会計補正予算(第10号)について) | 3/8 | 可決 | 佐渡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | 3/22 | 可決 |
| 佐渡市世界遺産推進基金条例の制定について | | | 佐渡市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 北小浦漁港漁港施設災害復旧工事請負契約の締結について | | | 真野町みどりの景観条例を廃止する条例の制定について | | |
| 小木地区埋設農薬掘削処分工事請負契約の締結について | | | 佐渡市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について | | | 佐渡市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市一般会計補正予算(第11号)について | | | 佐渡市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市■民健康保険特別会計補正予算(第5号)について | | | 佐渡市議会議員及び佐渡市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市老人保健特別会計補正予算(第2号)について | | | 佐渡市農業委員会に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について | | | 佐渡市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市介護保険特別会計補正予算(第5号)について | | | 佐渡市公民館条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市簡易水道特別会計補正予算(第4号)について | | | 佐渡市歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市下水道特別会計補正予算(第5号)について | | | 佐渡市樋川技能伝承展示館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市土地取得特別会計補正予算(第1号)について | | | 佐渡市樋川文書館条例及び佐渡市立明治記念堂条例を廃止する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市歌代の里特別会計補正予算(第3号)について | | | 佐渡市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 平成22年度佐渡市二宮財産区特別会計補正予算(第1号)について | | | 公有水面埋立てに係る意見について(水津地内) | | |
| 平成22年度佐渡市新畠野財産区特別会計補正予算(第1号)について | | | 新たに生じた土地の確認について(岩首地内) | | |
| 平成22年度佐渡市真野財産区特別会計補正予算(第1号)について | | | 財産の無償譲渡について(地方青年の家敷地) | | |
| 平成22年度佐渡市空港用地取得補償特別会計補正予算(第2号)について | | | 財産の無償譲渡について(沢崎生活改善センター) | | |
| 平成22年度佐渡市病院事業会計補正予算(第3号)について | | | 市道路線の認定について | | |
| 平成22年度佐渡市水道事業会計補正予算(第4号)について | | | 市道路線の廃止について | | |
| 平成22年度佐渡市一般会計補正予算(第12号)について | | | 佐渡市辺地総合整備計画(平成22~24年度)の変更について | | |
| 佐渡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 3/22 | 可決 | 平成23年度佐渡市一般会計予算について | | |
| 佐渡市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市■民健康保険特別会計予算について | | |
| 佐渡市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市後期高齢者医療特別会計予算について | | |
| 佐渡市土地開発基金条例の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市介護保険特別会計予算について | | |
| 佐渡市ケーブルテレビ放送施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市簡易水道特別会計予算について | | |
| 佐渡市■民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市下水道特別会計予算について | | |
| 佐渡市子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市ケーブルテレビ特別会計予算について | | |
| 佐渡市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市歌代の里特別会計予算について | | |
| 佐渡市地域活性化多目的施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市すこやか両津特別会計予算について | | |
| 佐渡市赤浦自然休養村管理センターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市五十里財産区特別会計予算について | | |
| 佐渡市新穂ダムふれあい広場条例及び佐渡市岩の平青少年旅行村の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について | | | 平成23年度佐渡市二宮財産区特別会計予算について | | |
| | | | 平成23年度佐渡市新畠野財産区特別会計予算について | | |
| | | | 平成23年度佐渡市真野財産区特別会計予算について | | |
| | | | 平成23年度佐渡市病院事業会計予算について | | |
| | | | 平成23年度佐渡市水道事業会計予算について | | |
| | | | 佐渡市教育委員会委員の任命について | | |
| | | | 人権擁護委員候補者の推薦について | | |
| | | | 人権擁護委員候補者の推薦について | | |
| | | | 人権擁護委員候補者の推薦について | | |
| | | | 佐渡市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| | | | 佐渡市入湯税条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| | | | 平成22年度佐渡市一般会計補正予算(第13号)について | | |

行政視察 第2回

市民厚生常任委員会

★平成23年1月27日(木)～28日(金)

- ①柏崎市 養護老人ホーム御山荘
- ②上越市 軽費老人ホーム千寿苑

当委員会では、直営で運営している養護老人ホーム・経費老人ホームの他市での実態を調査するため、1月に柏崎市と上越市の施設を訪問した。

① 平成51年公設、平成20年に民営化された施設である。平成17年に柏崎市行政改革大綱により、民営化の方針が決定し、市内5社会福祉法人を対象に事業者を公募した。その結果、柏崎刈羽福祉事業協会に譲渡された。同協会は、当市の十核的法人であり、特養3・救護施設(措置施設)2・ケアハウス1を運営している。経営収支は現在黒字である。措置施設であり収益は出にくいが、職員を最低限に抑えるなど人件費の抑制に努力がみられた。

② 平成55年に公設。社会福祉法人に委託運営しているが、平成17年より指定管理に移行している。事業者を公募したが、開設当初から運営していた上越老人福祉協議会が受け手となり、安定した運営と感じた。

佐渡市の待鶴荘・ときわ荘については現状の収支は大体な赤字であり、民営譲渡では受け手の法人が見つからないと思われる。したがって、市の施設として存続し交付税措置の恩恵を受けながら、指定管理者制度により「公設民営」の手法を取るべきではないかと思われる。

◆議会のうごき

| | | |
|----|--------|--------------------------------|
| 1月 | 11■ | 議員全員協議会 |
| | 12■ | 各派代表者会議 |
| | 14■ | 議会報編集特別委員会 |
| | 18～19■ | 第1臨時会 |
| | 20■ | 議会報編集特別委員会 |
| | 21■ | 産業建設常任委員会 |
| | 26■ | 空港対策特別委員会 |
| | 27■ | 空港対策特別委員会 |
| | | 市民厚生常任委員会行政視察 (～28日柏崎市、上越市) |

| | | |
|----|-----------|----------------|
| 2月 | 1■ | 議員全員協議会 |
| | 15■ | 各派代表者会議 |
| | 17■ | 空港対策特別委員会 |
| | 22■ | 議員全員協議会 |
| | 28■ | 議会運営委員会 |
| | 3月 2■～22■ | 観光資源開発等調査特別委員会 |

議会の傍聴においてください

本会議は一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。傍聴の手続きは簡単で議場の傍聴席入場の受付で住所・氏名などを記載するのみで傍聴できますので、ぜひ足をお運びください。議場は市役所佐和行政サービスセンターとなりの佐渡中央会館内にあります。



◆行政視察来市状況

| | | |
|----|-----|-------------------------|
| 1月 | 19■ | 愛媛県今治市議会(観光PR事業について) |
| | 21■ | 埼玉県春日部市議会(地産地消推進条例について) |

編
集
後
記

この度の東日本大震災で被災された地域では筆者につくせぬ悲しみと、絶望感に打ちひしがれていますことに心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。今後は一刻も早く安全な生活を確保することと、が一丸となって復興に務めなければなりません。

先頃の選抜高校野球大会では佐渡高校の選手たちの活躍に感動しました。標準を高く持って努力すれば必ず夢に到達することも教えてくれました。火の玉になつた応援も相手校を上りました。佐渡が熱く燃えたでした。(若林直樹記)

